



学校だより



NO.3

東京女学館小学校
令和2年6月29-30日

南鳥島はやがてぶつかる

小学校長 田中 均

あれほどつけると息が苦しくなるからいやだと思っていたマスクですが、いざ外出した時につけ忘れると、つけていないことが急に心配になってしまふほど長いコロナウィルス感染症対策の期間となりました。家庭学習の時間も長くなっていますが、分散登校で登校してくる子どもたちの表情を見ると、厳しい状況の中でも「家庭で健やかに過している」ことが感じられます。ご家庭での協力に改めて感謝申し上げます。

恨み言をではありませんが、「新型コロナウィルス」はいったいどうして生まれてきたのでしょうか。つい、その原因をたどってみたいくなりますが、こればかりは諸説紛々。しかし、ウィルスが世界中に一気に蔓延するというのは、交通機関が発達し短時間で目的地に移動できるといふ術を身に付けた人間にこそ大きな原因があると思います。

「古事記」の巻頭に、国の生い立ちを知る箇所があります。「次に國權（わか）く浮脂（うきあぶら）の如くして、くらげなすただよえる時に、葦牙（あしかび）の如（ごと）く萌え騰（あが）る物に因りて成りませる神の名（みな）は、宇麻志阿斯訶備比古遲神（うましあしかびひこぢのかみ）、次に天之常立神（あめのとこたちのかみ）、この二柱の神も獨神成りまして身を隠したまいき。」日本という国は、なんとふわふわとして足元の定まらない状態から生まれてきたというわけです。

私たちの地球は不断に流動している、プレートテクトニクスという言葉をお聞きになられているかたも少なくないことでしょう。私たちの国土は大陸プレートのうえに乗って、その下に沈むこむように今も移動している太平洋プレートやフィリピンプレートのひずみで地震が起きる。実は東京都小笠原村に属している南鳥島という無人島は毎年8センチずつ日本列島に近づいている、千八百キロも離れているので日本列島にぶつかるのは二千三百五十万年後、途方もない話です。

しかし、当たり前と思っている今の自然は昔から同じようにあり、これから同じようにあると思うことが間違いないのです。そうした自然の一部としてある人間という自覚が、今の私たちに必要であるように思います。

「脚下照顧」という言葉があります。曹洞宗の開祖である道元禪師が開いた永平寺の玄関に掲げられた貼り紙にある言葉としても、よく知られている言葉です。我が身を振り返れという意味です。脚下とは足元のことを、照顧とは照らし顧みる、つまり行いを反省して顧みることを意味しており、自分自身をしっかりとし顧みなさいということを行っています。私たち人間は万能ではない、人間の力で制御し支配しようとする目論見のもろさをせつなく思うところなのです。



1年生

記念すべき初めての登校日、全員がこの日を待ちわびていました。皆、進んで体育館へと入ってきてくれました。新しい小さな上ばきをそろえる手に始まり、子どもたちの全てが愛おしく感じられました。「さあ、いよいよ教室へ行きますよ。」と伝えただけで、大歓声に包まれ、子どもたちは体じゅうで嬉しさを表現していました。6年生が作ってくれたお教室の飾りつけを見て更に大喜び、校庭に出ては大騒ぎと、マスクをつけた真っ赤なお顔は元気いっぱいでした。入学式さながらに校庭に一列に並んで写真撮影をし、胸を張って並ぶ子どもたちの希望に満ちた姿に、私たちもこの日を迎えられる喜びに胸が熱くなりました。

2年生

6月15日（月）待ちに待った登校日がやってきました。いつもと違う学校の雰囲気緊張しつつも、ようやく会うことができた喜びの笑顔がたくさん見られました。お話を聞く姿はさすが2年生といった様子で、これからの活躍に期待が膨らみます。初めての人工芝で体を動かしました。一斉に走り出す子どもたちを見て、当たり前前の光景がとても幸せなことであったと改めて実感しました。学校が子どもたちにとっての楽しみであり、支えであってほしいと願っています。

3年生

6月19日（金）A組は午前、B組は午後今年度初登校でした。初めてのクラス替え、担任も変わり緊張気味のお顔で小学校の門をくぐりました。緊急事態宣言で思うような生活が出来なかった中、登校できた喜びを感じてもらいたいと考えました。お陰様で天気にも恵まれ、新しくなった人工芝の校庭で学級の仲間と楽しみました。校庭中に広がり、空いている場所を目指して歩き回ります。仲間とアイコンタクトをしたら、自己紹介ごあいさつエア握手やエアハイタッチ！「三密をさけて親密に」

オンライン授業・分散登校 ～お友だちと一緒に工夫して学びを深めています～



4年生

5月から始まったオンライン授業。子供たちは、機械のトラブルへの対応や授業内容への質問など、意欲的に取り組んでいます。私たちも、明るく、前向きな子供たちから、元気をもらい、楽しく授業に取り組むことができます。分散登校では、午前A組、午後B組とも、安全に、時間を守った登校でした。最初のうちは、緊張していた子供たちも、お友達の顔が増えるたびに、笑顔になっていきました。体育館で、新しい生活習慣についての話を真剣に聞きました。その後、クラスを2つに分け、グループごとに教室で行われた算数、国語の授業に集中しました。久々の対面授業をみんなで楽しみながら学びの場を作ることができました。

5年生

日頃より学校、学年の取り組みに関心を持って子どもたちを見守って頂きありがとうございます。ご協力に大変感謝しております。子どもたちは、オンライン授業にも慣れ、不便さに閉口することもなく、工夫と努力で毎日前向きに何事にも取り組んでいます。普段の学習と同じくらい、それ以上に発言にも積極的に学びへの意欲に満ち溢れています。きっとミュートの奥で一人「はいはい」と大きな声を出しているのでしょう。熱心な様子に感心させられ、授業者としても嬉しい限りです。以前、学校内のネットワーク通信が乱れ、子どもたちだけがzoom内に取り残されたことがありました。復旧までのおよそ10分間、パニックにならず、静かに待っていたことには驚きました。学級会のように、「今、学校から連絡が入って、しばらく待つようにだって」など情報を共有し合い落ち着いて待っていたのです。やる気に満ち、多少のハプニングには動じない生活力のある素晴らしい5年生で、頼もしいです。分散登校の際には緊張する様子も見られましたが、すぐにいつも通りの笑顔を見せ、下校時には楽しかったと言って帰りました。通常登校が大変待ち遠しいです。

6年生

国語の授業で、江戸時代の歌人・橘曙覧^{たちばなあけみ}に倣って「たのしみは」で始まり「時」で結ぶ短歌を作りました。子どもたちは日常の中にどのような楽しみを見つけているでしょう。
・たのしみはきれいな夜空うつとりとながめて心落ち着かす時 6A 児童
・たのしみは深呼吸して正座して泡立つ抹茶一服の時 6A 児童
・たのしみはかけがえのない友だちとつらさ忘れてわらいあう時 6A 児童
・たのしみは家族と食べる夕飯の笑顔溢れて顔見合わせる時 6B 児童
・たのしみは来週火曜の登校で友だちと会い笑顔になるとき 6B 児童
・たのしみはオンライン授業受けながらみんなと顔をあわせる時 6B 児童

家庭科

自宅で過ごす時間が長い状況は、児童が家族との関わりの中で、生活を見つめるチャンスでもあります。ご家族が多くの家事を担ってくださり、自分達の生活が支えられている事を知ると共に、出来ることから進んで取り組めるよう児童を促しました。

4月には、Vimeo を通じて、簡単なデザート作り方を紹介し、ご家族の為に手作りをした児童もいました。オンライン授業では動画で、ガスコンロの使い方(5年)、みそ汁の作り方(6年)などを、学習し、今後は手縫いの実習(5年)も行います。

音楽

多くの学校で登校が始まり、学校で音楽の授業が行われているところも増えましたが、音楽室では歌うことも楽器を演奏することもできないという状況が続いています。そのような中、日本中の音楽の先生方は音楽づくりや鑑賞、読譜(どくふ)等たくさんの工夫を重ねて、今できることをされています。オンライン授業のよいところは、思い切り歌えたり、リコーダーを演奏したりできるところです。しかし、皆で音を合わせることはできません。例えば「先生の声に合わせて歌いましょう！」と言っても皆さんの声は聴こえません。ちゃんとできているかなあ?と思いながら授業を進めていきます。ところが、ある時から不思議なことが起こるようになりました。画面の中の歌っている皆さんの顔を見ながらいつものように歌っていると、聴こえていないはずの歌声が聴こえてくるような感じがする時があるのです。その時は、皆さんの気持ちが伝わって声を合わせて一緒に歌っているのだな!という幸せな気持ちになります。皆さんも自分の「心の耳」を研ぎ澄ませて、お友だちの声を全身で聴いてみてください!



2年生
かさねてなぞって



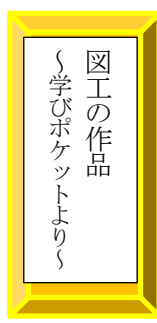
1年生
どんなパフェが
たべたい?



6年生 あじのひらき



3年生
こんな穴なら落ちてみたい



6年生 お札のデザイン

体育

体育では、お家の中で出来る運動に取り組んでいます。風船やタオル、新聞紙などを使って楽しく体を動かしたり、音楽に合わせてダンスをしたりしています。オンライン上でも、お友だちと一緒に一生懸命体を動かしている姿を見て、私たちも元気をもらっています。



また、授業以外の時間でも運動に取り組めるように、なわとびやリズム運動の動画を配信しています。思い切り

体を動かす機会が減ることで、運動不足による体力の低下が危惧されます。健やかな身体を守ることが出来るように、今後も体育で今できることを工夫してまいります。

英語

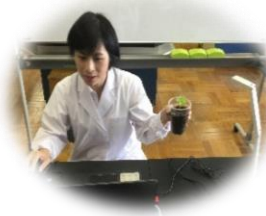
英語の授業では、オンラインでも少人数でお教室の授業に近い形の展開をしています。教員の言う英語の真似をして、生徒の皆さんが顔やお口をしっかりと動かし授業に参加されています。授業中に練習したり活動したことを、授業後じっくり自分と向き合って書く練習ができるように毎回宿題提示しています。CD やオーディオも活用しながら listening, speaking, writing, reading の4技能を磨いていきましょう!

理科

理科では、「自然から学ぶ」ことを大切にしています。オンライン授業でも、その考えは変わりません。学校から送ったもの・ご家庭で用意していただいたものなどを使い「自然から学ぶ」授業になるよう心掛けました。

また、「まなびポケット」を利用し、各家庭で取り組んだ実験などを投稿してもらいました。投稿を通じ、深い学び・普段にはないつながりが出来て嬉しく思いました。

これからも「自然から学ぶ」授業をしていきます。今後ともご協力お願い致します。



保健室より

分散登校が始まり、ようやく学校内に子どもたちの元気な声が戻ってきました。教員一同、嬉しい気持ちでいっぱいですが、ただ、いつも通りの学校生活というわけにはまだいかず、制限がある中で新しい学校生活様式での過ごし方となっています。コロナウイルスの情勢もまだ不安定であり、安心できる状況ではありません。学校で安心に、安全に過ごせるよう、日々子どもたちの健康管理、校内の環境整備・消毒に一層努めてまいります。

保護者の皆様、朝7時までの健康観察の入力へのご協力ありがとうございます。コロナが落ち着き、少しでもいつも通りの学校生活が戻ってくるよう祈っております。



1年生 初めての登校
～6年生が心を込めてお迎えの準備～



6月の目標 雨の日の過ごし方をくふうする

登校再開となりましたが、学年クラスごとの分散登校がもう少し続きます。梅雨の季節は、登下校の道も滑りやすくなっていますので、気をつけて歩くよう指導してまいります。また、乗り物の中や歩道で、周りの方に迷惑が掛からないように、傘の扱いに注意するよう十分注意してほしいと思います。雨の日の校内の過ごし方や傘立ての使い方も、上手にできるようにしていきます。ご家庭でも置き傘の確認や名前が書いてあるか、きまりにあった傘を使っているかお確かめください。傘にもしっかりと記名して、取り違えを防ぎましょう。